



コミュニケ(声明)  
2009年9月21日発表

平和省グローバル・アライアンス 第四回サミット  
2009年9月17-21日 コスタリカ・サンホセ

40カ国以上から200名以上が参集し、インターネットのストリーミング・ライブ映像で世界をつないで開催された、グローバル・アライアンス第四回サミットは、大成功をおさめました。このサミットがこの時期にコスタリカで開かれたのは時宜にかなったことでした。今月初めに司法省を司法平和省と改組する決定が行われたコスタリカは、平和省をもつ世界で三番目の国となったばかりだからです。サミットの開会式に出席したオスカー・アリアス コスタリカ大統領は、以下のように語りました。

私たちの仕事はまだ始まったばかりである。平和省の創設は(中略)最終的な到達点ではない。私たちは、人と人の間の対立を暴力によらずに解決することを可能にする、恒久的な秩序の構築に向けての道程の入り口に立っているに過ぎないのだ。

グローバル・アライアンス(GA)の使命・任務は、すべての国々において平和省設置を支援することです。平和のための国家的な基幹組織をつくることに各国政府と共に取り組むために、今回のサミットでは、様々な分野の専門家から意見を伺いました。たとえば、非武装で平和に取り組む民間組織、平和構築に従事する若者たち、平和学研究、修復的司法(Restorative Justice)の実践、平和的な経済活動、メディアの革新的な利用推進、核軍縮および全面的軍縮、市民社会と政府の間の協力、国連および経済界とのネットワーキング、などの分野です。

今回のサミットでは、また、GAの次の段階における戦略的な方向付けおよび行動計画の作成を行い、リーダー会議を設立しました。リーダー会議は動的に活動することとし、世界6地域からリーダーが選ばれました。リーダー会議はGAの使命に向けて活動を進める原動力となり、同じ分野で活動する他の国際的組織との協力を推進し、次回のサミットを計画することとします。

サミットを主催したラスール財団のリタ=マリー・ジョンソンは、今回のサミットの成果をまとめて次のように述べました。「平和のための国家的な基幹組織の実現に向けての飛躍的な進歩を遂げたGAのメンバーは、世界にとっての平和の希望の緻密なイメージを示すことによって、平和を体現する存在となりました。何をなすべきか私たちにはわかっていますし、平和のために、共に、私たちはそれをやり遂げる決意です。」

2011年の次回サミット開催までに、少なくとも2カ国における新たな平和省設置に立ち会う決意をもってサミットは閉会しました。

問い合わせ(日本): 平和省プロジェクト JUMP  
email: [info@ministryofpeace.jp](mailto:info@ministryofpeace.jp) (担当: きくちゆみ 04-7097-1011)  
<http://ministryofpeace.jp/>  
<http://www.gasummit.org>